えんちょう先生のわくわくだより

冬号

朝夕は暖房が恋しい季節となりましたね。こども達は、戸外での遊びに加え、各御家庭にもお願いをしたアンケートと共に、運動の測定も始まりました。保育室からは、こども達の歌う元気な秋の歌が聞こえてきます。少し早いですが、秋から冬に向かうこの季節、こども達も体調を崩しやすくなりますので、感染症についてお知らせしておきますね。

冬の感染症に気をつけよう！

病名	症状	予防
インフルエンザ	三日間の潜伏期間後に発症。咳、鼻水、のどの痛みに加え、身体の倦怠感や急な高熱。小児が感染すると脳症になる事もある。発症後３~７日間は、咳飛沫等にウイルスが出ます。	丁寧な手洗いやうがい。抵抗力のない時に感染しやすいので、早寝、早起き、栄養ある食事を。流行時には外出を控える事。生後六ヶ月から予防接種が受けられるが、基本は、大人が、乳幼児にうつさない様にする事です。
ノロウイルス	感染した人の糞便から感染する事が多い。突発的な腹痛や吐き気、発熱を伴なうこともある。１２月頃から発症しやすい。	ウイルスが非常に小さく、感染力が強いしアルコール消毒は効きにくい。乳児のお尻についたものが入浴時に広がる等、糞便や嘔吐物の処理に注意が必要。 ノロウイルスが死滅するには、８５℃～９０℃で９０秒間以上加熱する。 塩素系消毒液を使って、トイレの清掃や嘔吐物の処理を行う。 手洗いが予防の基本です。石鹸でよく洗う事によって、ウイルスが削ぎ落ちる。 もし、感染してしまったら、他に広げないようにしましょう。
ロタウイルス	乳幼児に多く、便が白くなるのが特徴。下痢や嘔吐を伴なうノロウイルスに比べて重症度が高い。一月～四月頃に掛けて広がりやすい。	
RS ウイルス	乳幼児の呼吸器感染症で、初期は風邪の様な症状だが、重くなるとゼーゼーと言った呼吸困難の様な咳が明け方に続く。有効なワクチンはなく、何度も感染する事がある。	丁寧な手洗いとうがい、規則正しい生活が大事。 アルコール消毒。



インフルエンザ出席停止期間について

★発症後５日を過ぎてかつ解熱後３日です。

日数の数え方は、その現象が見られた日は数えずその翌日を第一日目とする。

◆ **解熱後３日を経過とは・・**
解熱を月曜日に確認したら、**その翌日から**火．水．木と３日間を休み、金曜日から登園許可となります。

◆**発症後５日とは・・・**
発熱の症状が現れた翌日から５日間と数えます。



おねがい

◎これから冬に向かって、様々な感染症が広がりやすくなってきます。特に大勢のこどもが集まる集団の場では、一度に広がってしまう事も多々ありますので、こどもの発熱．嘔吐．下痢等には特に気をつけて頂き、早めの受診をお願い致します。

◎こどもの調子の悪そうな時のお出掛けは控えましょう。

◎月曜日に登園後、調子の悪くなる子がよくあります。大人の都合で、連れ回す事のない様に、こどもの体力や、体調に気をつけて土日を過ごして頂きたいと思います。

◎朝、吐いたり、熱のある時、咳のひどい場合は、申し訳ありませんが、一日休ませてこどもの様子を見て頂きたいと思います。

◎園では、こども達のうがいや手洗いは勿論ですが、未満児のこどものオムツ替えやトイレ、昼食前の机の消毒など、二次感染にならないよう常ずね心掛けています。
又、ノロ．ロタウイルスは感染力がとても強く広がりやすいので、部屋の中でこどもが嘔吐した場合には、他のこどもはすぐに他の部屋に移動し、担任が専用のエプロン．マスク．手袋で処置をする事になっています。参観日や子育て支援で未入園の小さいこどもが集まった時にも同様に行いますので、その様な場合には、ご協力をお願い致します。